

## 平成29年度事業報告について

大分県金融広報委員会では、平成29年度事業計画に基づき、関係機関と連携しながら、県民の金融に関する知識・判断力（「金融リテラシー」）の向上に資するよう、以下のとおり各年齢層のニーズに応じた金融広報活動を展開した。

（学校段階での金融教育）

金銭教育研究校への教育実践面での支援や、金融教育の更なる浸透に向けた「金融教育公開授業」の開催（金融広報中央委員会との共催）、「巣立ち教育出前講座」への講師派遣。

（高年層向け）

市民活動・消費生活センター主催の「消費生活教室」に積極的に金融広報アドバイザーを派遣。

（その他一般向け）

これまでに比べて、子育て層や単身層への金融広報に主眼を置いた内容で、「金融経済講演会」（大分市との共催）や「金融講座」を開催。

具体的な取組みは次のとおり。

### （1）県・市町村との連携による金融経済知識の普及に向けた取組み

#### ① 県主催事業（「アイネス消費者教育夏休み講座」）での体験参加型学習会の実施およびワークショップへの出展

開催日	行 事 内 容	参加者等	参加者
7月25日	ワークショップ 「自分だけの貯金箱を作ってみよう！」	小学生および保護者	約100名
7月28日	ワークショップ 「夏休み！にちぎん大分見学会」	小学校4～6年生の 児童および保護者	約20名

#### ② 市町村との共催による「金融経済講演会」の継続開催および「金融講座」の開催

大分市との共催により「コンパルホール」において「金融経済講演会」を開催。地元新聞への開催広告、大分市の市報やホームページへの掲載等により参加者を募集。約300名が参加。

開催日	テーマ	講師
2月15日	夢をかなえる小さな節約術	節約アドバイザー 丸山 晴美 氏

豊後大野市との共催により「マネー講座」を開催。

開催日	テーマ	講師(金融広報アドバイザー)
1月20日	おひとりさまのお金事情 ～僕の私のマネープラン～	衛藤 千江美

### ③ 市町村主催の「消費者講座」等への講師派遣

大分市市民活動・消費生活センター(ライフパル)ほか、4市の主催による「消費生活教室」に、金融広報アドバイザーを講師として派遣(93回、参加者2,504名、うち大分市88回、参加者2,380名)。

### ④ 「消費生活展」(大分市)への出展

事業名	開催日	開催場所	事業内容	参加者
第40回みんなの消費生活展(大分市、大分市消費者団体連絡協議会)	10月13・14日	大分市(ガレリア竹町ドーム広場)	クイズ「きんゆう道場」実施 活動紹介パネル展示 各種刊行物配布 講師派遣に関する照会対応 貯金箱作り	約380名

## (2) 県教育委員会等との連携による学校段階での金融・金銭教育の普及・定着に向けた取組み

### ① 大分市の「中学生のための消費者教育啓発事業」へ金融広報アドバイザーを派遣

学校名	開催日	テーマ	参加者
大分市立神崎中学校	7月19日	賢い消費者になろう	同校1年生(24名)

### ② 成年年齢の引き下げを展望した「出前講座」(県との共催による「巣立ち教育出前講座」)の拡充

高等学校 ……県との共催による「巣立ち教育出前講座」(10回)

学校名	開催日	参加者
県立大分南高等学校	12月12日	高校3年生(75名)
〃	12月15日	〃(75名)
県立宇佐高等学校	30年1月11日	〃(86名)

県立由布高等学校	1月19日	高校3年生（99名）
県立高田高等学校	1月29日	〃（107名）
〃	1月30日	〃（107名）
県立盲学校	1月30日	〃（14名）
県立由布支援学校	2月1日	〃（8名）
県立日田支援学校	2月7日	〃（12名）
大分国際情報高等学校	2月9日	〃（118名）

### ③ 著名な講師を招いて行う「金融教育公開授業」の開催

金融広報中央委員会との共催により、「金融教育公開授業」を県立日田三隈高等学校において開催。2年生の生徒を対象とした公開授業と、いちのせかつみ氏の講演会を実施。

開催場所	開催日	講師	テーマ	参加者
県立日田三隈高等学校	9月20日	いちのせ かつみ氏	「地方の人口減少による高齢社会でも、みんなが幸せになるお金の話」	同校生徒、教員、保護者、一般約460名

### ④ 金銭教育研究校（別府市立亀川小学校）での教育研究・実践をサポート

委嘱校名	委嘱期間	所在地	児童数
別府市立亀川小学校	29. 4. 1～31. 3. 31	別府市大字内竈	50名

（県・別府市教育委員会の指導主事等を交えた連絡会および出前講座の開催）

月日	内容	対象
5月22日	<ul style="list-style-type: none"> <li>金銭教育研究校委嘱式</li> <li>金銭教育の進め方に関する協議</li> <li>出前講座「おかねの話」</li> </ul> 講師：濱田秀夫 副会長（日本銀行大分支店長）	全校児童、教職員、教育委員会、事務局
30年 2月5日	<ul style="list-style-type: none"> <li>出前講座</li> </ul> 「おこづかい帳の使い方を勉強しよう！」 講師：衛藤 千江美 金融広報アドバイザー	1年生児童
2月6日	<ul style="list-style-type: none"> <li>出前講座</li> </ul> 「おこづかい帳の使い方を勉強しよう！」 講師：衛藤 千江美 金融広報アドバイザー	2年生児童
2月22日	<ul style="list-style-type: none"> <li>出前講座</li> </ul> 「お買いものビンゴゲーム」 講師：衛藤 千江美 金融広報アドバイザー	4年生児童

月 日	内 容	対 象
2月23日	・出前講座 「お買いものビンゴゲーム」 講師：衛藤 千江美 金融広報アドバイザー	3年生児童
3月6日	・出前講座 「お買いものビンゴゲーム」 講師：衛藤 千江美 金融広報アドバイザー	5年生児童

⑤ 高等学校地歴公民部会、商業部会、家庭科部会での「教員セミナー」開催の積極的な働き掛け

— 部会の会合に、講師派遣を行うことを計画

12月26日に開催された、大分県立高等学校教育研究会商業部会において、副会長が「最近の金融経済情勢について」と題する講演を実施。

⑥ PTA等との連携強化を図り、保護者への金融・金銭教育の重要性の情宣および保護者向け講演会の実施のほか、「夏休み親子スクール」（委員団体との共催、協賛）の継続開催

(PTA および保護者向け講演会)

学 校 名 等	開 催 日	参 加 者
日出町立日出小学校	6月15日	4～5年生とその保護者 (200名)
あさじ放課後チャレンジ教室	9月27日	3～6年生とその保護者 (30名)
大分市高田小学校 PTA 研究部	12月17日	同校児童とその保護者 (20名)
中津教育委員会ウサギブロック	1月11日	就学前の児童の保護者 (20名)
中津教育委員会コアラブロック	1月17日	〃
中津教育委員会パンダブロック	1月19日	〃

8月2日に、豊和銀行との共催により、同店で「夏休み親子スクール」を開催。以下のプログラムに7組21名の親子が参加。

内 容	担 当
「お金の働き、銀行の役割」について	豊和銀行
「1億円（模型）を持ってみよう！」体験	日本銀行大分支店
「銀行の内部をのぞいてみよう！」体験 （名刺交換体験、窓口・貸金庫・頭取室見学、札勘体験）	豊和銀行
「お買いものビンゴゲーム」	金融広報アドバイザー

また、次の金融機関等に協賛参加し、「銀行券の引換基準の説明」、「おこづかい帳」などの刊行物の提供や「1億円の重さ体験」等を実施。

開催日	金 融 機 関 等 名	イ ベ ント
7月24日	三井住友信託銀行大分支店	「夏休み親子スクール」
8月3日	みずほ銀行大分支店	「夏休み親子スクール」
8月10日	J A大分おおいた豊後高田支店	「夏休み親子スクール」

⑦ 「作文・小論文コンクール」（金融広報中央委員会主催）への参加促進を継続

学校訪問やチラシ・ポスターの送付等により、金融広報中央委員会が主催する「作文・小論文コンクール」への応募を積極的に勧めた。

県内より中・高校生合わせて、693編の応募があり、秀作3編、佳作2編、計5編が入選し、2月14日に日本銀行大分支店で表彰式を実施。

(応募・入賞状況)

コンクール名	賞	学 校 名	氏 名	全国応募総数
第50回 「おかねの作文」 (中学生)	秀 作	向陽中学校	阿南 善太郎	3,391 編
	佳 作	大分中学校	清原 鈴音	
第15回 「金融と経済を 考える」 高校生小論文	秀 作	県立大分舞鶴高等学校	中馬 きらら	2,908 編
		大分東明高等学校	藤並 蒼史	
	佳 作	大分東明高等学校	吉川 優夏	

### (3) 家計や消費者のニーズに応じた金融経済情報の提供に向けた取組み

#### ① 当委員会の活動内容紹介や無料講師派遣制度の周知

ー 各種イベント等の機会を捉え、当委員会のパンフレット等を配布  
大分県PTA連合会を訪問し、当委員会の活動内容のほか、授業やPTAでの「出前講座」のテーマや無料講師派遣制度を紹介。席上で出された意見を踏まえて、県内PTAに「出前講座」のチラシを配布するなど、講師派遣制度の利用を積極的に奨励。

#### ② 市町村への働きかけを継続し講師派遣制度の周知を図る

市町村の消費者行政担当課長・担当者会議において、当委員会の活動内容の紹介や、金融広報アドバイザー等派遣による「講習会・学習会」開催一覧を配付し、講師派遣制度の利用を積極的に奨励。

#### ③ 機関紙「おおいた金融広報だより」および当委員会ホームページを通じた金融関連情報やイベント開催情報のタイムリーな発信

機関紙「おおいた金融広報だより」	
配付数：	年4回、各号3,600部
配付先：	県の関係機関、市町村、小・中学校、高等学校、市町村教育委員会、金融広報アドバイザー、金融学習グループほか

ホームページ	
大分県金融広報委員会 ( <a href="http://www.money-oita.com">http://www.money-oita.com</a> ) (18年1月30日開設)	29年度中アクセス件数：約39,900件 —— 月1回の頻度で更新。

### (4) 組織力強化に向けた取組み

#### ① 委員会メンバーとの情報共有

委員団体に対して、上記、「おおいた金融広報だより」(No.59号～62号)を配付したほか、「大規模講演会」、「金融教育公開授業」などのイベントの際には、チラシを送付し情報の共有と来店客等へイベントの周知を依頼。

#### ② 金融学習グループの新規募集と積極的な活動支援

各種イベント等でのチラシの配布や、金融広報アドバイザーの講演会の際に、制度の紹介と継続的な金融学習の必要性の呼び掛けを実施。

また、大分市地域ふれあいサロン事業代表者説明会へ出席し、当委員会の活動内容の紹介と金融学習グループの制度等について説明を実施。

### ③ 関係機関、市町村との連携

当委員会関係機関との会議を開催したほか、県主催会議への出席等により連携を強化。

(会議開催)

会議名	開催日	会場	内容
総会	5月24日	大分オアシスタワーホテル	平成28年度事業報告および収入支出決算 平成29年度事業計画案および収入支出予算案
幹事会	4月26日	日本銀行大分支店	平成28年度事業報告・収入支出決算 平成29年度総会資料について 平成29年度事業計画(案)・収入支出予算(案)

会議名	開催日	会場	内容
金融広報アドバイザー等協議会	6月15日	ソレイユ	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成28年度事業報告等説明</li> <li>平成29年度事業計画等説明</li> <li>新規金融広報アドバイザー委嘱状交付</li> <li>金融学習グループ修了報告</li> <li>金融広報アドバイザー活動事例報告</li> </ul>

(会議出席)

会議名(主催)	開催日	出席者
市町村消費者行政担当課長・担当者会議(県県民生活・男女共同参画課)	5月18日	県、市町村

会議名(主催)	開催日	出席者
多重債務者対策連絡会議(県県民生活・男女共同参画課)	10月6日	県、教育庁、警察本部、弁護士会、司法書士会、市長会、町村会、クレジットサラ金被害者の会、貸金業協会、大分財務事務所ほか

会議名(主催)	開催日	出席者
大分県消費者教育に関する連絡会議(県県民生活・男女共同参画課)	12月21日	県、大分市、教育庁、大分大学教授、小学校教諭、大分財務事務所多重債務相談窓口相談員ほか

④ 金融広報アドバイザーのスキル向上に向けた研修の充実

(県金融広報委員会主催)

名 称	開催日	テーマ・講師	参 加 者
金融広報アドバイザー等 研修会 (第1回)	9月12日	「ビットコインについて」 講師：九州財務局大分財務事務所 調査官 下谷 豊 氏	金融広報アドバイザー、金融学習グループリーダー、金融学習グループ 所在の市町村担当者
〃 (第2回)	12月1日	「フィンテックについて」 講師：山崎 誠久 事務局長 (日本銀行大分支店次長)	
〃 (第3回)	30年 2月19日	「被災地支援と復興に向けた取り組みについて」 講師：佐伯市役所まちづくり推進課 総括主幹 柴田 真佑 氏	

⑤ 金融広報アドバイザーのスキル向上に向けた研修の実施

(金融広報中央委員会主催)

名 称	開催日	内 容	参 加 者
金融広報アドバイザー研修会	10月 26・27日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・金融広報活動に関する基礎知識の習得</li> <li>・中央委員会からの情報提供</li> <li>・金融広報アドバイザー相互間および中央委員会との間での情報・意見交換</li> <li>・各地の特徴的なアドバイザー活動 ほか</li> </ul>	金融広報アドバイザー 衛藤 千江美 阿部 豊志

⑥ 経費執行における透明性の維持

業務委託や物品発注の際、複数社から見積りを徴求のうえ、内容等を十分に比較検討するなど、経費執行に当っては、効率性・透明性を確保した運営を継続。

以 上